



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算 3195 回
2024年3月15日
第31回例会

Create hope in the world

世界に希望を生み出そう

2023~2024年度 R | 会長
ゴードン R. マッキナリー

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場

事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505



人吉ロータリークラブ
ホームページ



f フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2023~2024年度 人吉ロータリークラブテーマ
コ・クリエーション(共創)復興の希望を生み出そう

本日の例会

国歌斉唱・Rソング斉唱

来訪者紹介、会長の時間

幹事報告、出席率報告

寄付の申し出、会務報告、結婚祝い

国際奉仕卓話 台北稻江RC訪問報告

青少年奉仕卓話 熊本グリーンRAC久保山慧美様

寄付カード

点 鐘

北 昌二郎 会長

歌 唱

ソングリーダー 水野虎彦副委員長

国 歌 「君が代」
R S 「奉仕の理想」

司会・進行

プログラム 伊久美早利委員長

来訪者紹介

北 昌二郎 会長

熊本グリーンロータリークラブ
副会長 久保山 慧美 様

会長の時間

会長 北 昌二郎

親愛なる人吉ロータリークラブの皆さん、こんにちは、本日のご出席誠にありがとうございます。

先週は有限会社球磨緑地代表の久保山文生様をお迎えして卓話を頂戴いたしました。担当の有馬委員長ありがとうございます。例会が終わりました後に久保山社長の職場にお伺いしました。広大な敷地の中に樹木がところ狭ましと植栽してありました。久保山さんのお話で楽しい時間を過ごし例会での卓話のお礼を申し上げ、樹木の購入はまた後日ということで、球磨緑地さんを後にしました。息子さんが堀川匠太くんと同級生ということが分かり入会のお誘いもしたところで

した。

昨日夜は人吉ローターアクト第一例会 膳所ガバナー訪問例会へ参加いたしました。ガバナーの卓話からロータリーの基本を勉強させて頂きました。

例会後膳所ガバナーは日田へお帰りになりました。本当に大変な役職だなあーと感心いたしました。従業員でもない日田RC合原さんが運転をされるのにも頭が下がります。このような大変な役職に挑戦する延岡ガバナーノミニデジグネートは相当の覚悟が必要ですが、それを支える我々人吉ロータリーのメンバーお一人お一人の覚悟も必要となる訳で、人吉ロータリークラブ70周年の年は、仕事とロータリーと反省会をしっかりとやって行きたいと勝手に心に誓ったのでした。

本日は国際委員会卓話をお願いしてございます。浅野委員長よろしくお願い申し上げます。稲江RC蘇ピーター会長は連日ラインに写真を送っていただいているようですが、いやにならないでくださいね。それだけ楽しかったし、人吉クラブとの交流を喜んでくれているのだろうと伺えます。引き続きこの交流を続けて行きたいものです。

最後に、先週もご案内いたしました6月28日韓国慶山ロータリークラブの50周年記念祝賀の参加者を募集しておりますので、どうか奥様とご一緒にご登録をお願い致します。韓国からも参加者の名簿の催促もきておりますので、今夜でも奥様とご相談下さい。

本年の人吉ロータリーテーマ「コ・クリエーション(共創)復興の希望を生み出そう」です。本日の復興川柳をご披露したいと思います。

「阿蘇に立ち 平素の暮らし 時を待つ」
復興を遂げた阿蘇の人々の笑顔をみたときに、これまでの苦勞を感じさせない日常が戻ってきている。人吉の復興は道半ばではあるが、ゆっくり、着実に日常の生活は戻ってくるよ。という思いの句であります。

会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 小笠原賢治

《連絡事項》

- ・地区より2024年度決議審議会への決議案提出についての文書
 - ・多良木RC I M実行委員会より収支報告書
 - ・ハイライトよねやま3月号
 - ・グローバル補助金奨学生 李民樹さんより第5回2月レポート
- 今後の例会予定
 3月22日・29日 休会
 4月5日 花見例会「くまりば」18:30～
 4月12日 優良職委員表彰式

出席率報告

吉野孝司委員

現 会 員 数	48名	出席免除会員数	0名
出席義務会員数	48名	本日の出席率 72.92% ZOOM(2) 会場(33)	
欠 席 者 数	13名		
出 席 者 数	35名		
免除会員出席数	0名		

《 寄付の申し出 》

井手富浩会員より
 「入会満20年を記念して」
 R財団、米山記念奨学会、
 人吉RC奨学基金委員会へ
 ご寄付がありました。



増田隆二会員より
 「次女の結婚を記念して」
 R財団、米山記念奨学会、
 人吉RC奨学基金委員会へ
 ご寄付がありました。



会務報告

【ゴルフ愛好会】

3月10日(日)
 チェリーゴルフ人吉コース
 北会長杯 第9戦
優勝 塚本哲也 会員
 ワンオンチャレンジ 4,250円



【親睦委員会】

3月結婚祝い	
外山博之会員 3日	宮原和広会員 30日
愛甲 碧会員 31日	



【国際奉仕委員会】

台北稻江RC創立37周年訪問報告

委員長 浅野 強

先週予定通り台北稻江ロータリークラブ創立37周年記念行事に参加して参りましたので報告させていただきます。3日分を8分で報告します！

報告の写真は石蔵バスト会長から723枚いただきました。全部紹介したら1時間では足りませんので雰囲気分かる程度にカットしています。

まず、桃園空港到着すると稻江RC蘇会長と会員4名のお出迎えを受け、歓迎のレイをかけていただいて記念

写真です！バス中で蘇会長より歓迎の挨拶をいただき、人吉



RC来訪を喜んでおられました。蘇会長の職業はお茶の生産から販売だそうです。ホテルで着替えをして式典会場に入り、稻江RCの皆さんと記念写真です！

会員数は25名とのことでした。

式典は、会長独奏から始まり、ロータリーソング斉唱、そして来訪者一人ずつ紹介、蘇会長の挨拶から北会長の途切れることのない挨拶がありました。スマイルも確かにお渡ししてもらいました。

懇親会の様子です。渡辺さんも無事到着しピースサイン！家内も歌に引っ張り出されました。最後は手に手つないで終了。

ハードな1日でした。

2日目 16日は予報通り雨
 ゴルフ組と観光組に分かれて行動、私は7人のメンバーと1時間半かけてゴルフ場へ、前情報では格好あるゴルフ場でブレザー着用が望ましいと聞いていたのですが、完全なパブリックコースで期待外れでした。日本のような売店もなく、合羽を持って来なかった人には気の毒でした！ハーフ終わった時点でも雨は止みそうになくハーフで上がりました。私的には、あんまり良いコースではなかったので名残り惜しくもありませんでした。

観光組は写真の通り

夕飯は人吉ナイトの計画でしたが、稻江RCの方で歓迎会をセッティングされていて、上尾西RCと3クラブでの懇親会でした。歌ありダンスありで皆さん楽しんでおられました。最後は手に手つないで締めかな？と思っていたら2次会の場が設けてあり、女性陣も一旦会場へ入りましたが席が不足、タイミング良く迎





えのバスが来たので女性陣はホテルへ帰っていただきました！男性陣は、また呑んで食べて歌って1時間ちょいでお開きになりました。

3日目17日、最終日午前中は観光へ、忠烈堂で警備隊の交代式、お寺では思い思いの願いごとに手を合わせておられました。パイナップルのお菓子もいただきました♪

昼食は稲江RC会長メンバー10名と圓山大飯店で最後の懇親会をしてお別れし帰途に着き、23時頃に無事に帰宅しました！

最後に、蘇会長はじめ台北稲江ロータリークラブ皆さんの歓待に感謝します。

【青少年奉仕 卓話】

RYLAについて

熊本グリーンRAC
副会長 久保山慧美 様



こんにちは。本日は、青少年奉仕月間の一環として、RYLAセミナーについて卓話をさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

本日は、まずRYLAとは何か？次に過去の実施内容、そして今年の開催概要、最後に申込方法、という流れでお話いたします。

初めに「RYLA」についてご説明します。RYLAは「Rotary Youth Leadership Awards」の略です。日本語では「ロータリー青少年指導者養成プログラム」と書きます。この名の通り、RYLAとは、14～30歳の若い世代を対象とした短期集中型のリーダーシップ育成プログラムになります。ロータリーの掲げる五大奉仕の内の1つ「青少年奉仕」に基づくプログラムです。

「青少年奉仕」とは、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することを指し、例としてインターアクト、RYLA、ロータリー青少年交換がそれにあたります。なお、ロータリーアクトも青少年奉仕から生まれた組織ですが、2019年規定審議会の決定によりRIの一員になりましたので外しております。クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕のいずれも、自分自身が考えたり行動する主要人物ですが、青少年奉仕においては、ロータリアンは青少年や若い世代が育つ過程を応援するポジションのため、具体的な活動が想像しにくかったり、もしかしたら縁遠いものとお考えかもしれません。

しかし、そうではありません。皆様の身近なところにこれと密接に関係した組織があります。会社です。皆様、会社を経営されている方や、監督・指導する立場の方がほとんどかと存じます。ご自身の会

社での人材育成、これは青少年奉仕とは無関係ではないはずです。そう考えると、身近なものに感じられませんか？どこの業界でも人材不足が叫ばれて久しい昨今、人材獲得はもちろん、せっかく採用した人材の育成に悩まれていたりしませんか？

- ・新入社員がなにを考えているのか分からない
- ・入社してもすぐに辞めていく
- ・育って欲しい気持ちはあるが、何を言ってもパワハラになりそうで気を遣う
- ・コミュニケーションが取りづらい。どう関わっていいかわからない・・・
- ・つい「今時の若者は…」って思っちゃう

今月で33歳になる私でさえ、新卒採用だと10歳程年齢差がある若者たちが、もう分からなさ過ぎて宇宙人みたいに思えてしまうことがあります。

ではそもそも、最近の若者は、どんな特徴を持っているのか、を簡単に並べてみます。もちろんこれは一例であり、全員にこれが当てはまる訳ではありませんが、個人的にはちょっと納得したのでご紹介します。また、まだまだ社会人としては成長過程にあることを前提とします。

1つめの特徴。想像力に欠けることがある。「相手が今、どのような感情を抱いているか」「自分のとった言動が周囲にどういう影響を及ぼすか」「この状態が続けば、この先どのような結果になるか」といった、仕事上様々な場面で必要になってくる想像力が十分でないことが見受けられるそうです。

2つ目。「納得しないと動かない」。まず、この特徴のうまれる背景として外せないのが「個人の生活」と「仕事」の関係の変化です。昭和の頃は「ライフ・イン・ワーク」つまり、仕事が第一で、私生活は二の次だったのではないのでしょうか。そして平成に入り、「ワーク・ライフ・バランス」へと変わりました。政府広報オンラインでは、ワーク・ライフ・バランスとは「働くすべての方々が、『仕事』と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった『仕事以外の生活』との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方」と定義されています。さらに令和に入り、「ワーク・イン・ライフ」つまり、人生の中に仕事がある、という考え方へと変わりつつあると言われています。こうした時代にあって、「会社の方針だから受け入れるのは当然だ」「上司の命令には絶対従わないといけない」といった考え方は通用しにくくなりました。納得感が得られなければ方針や指示命令に従うことはないし、「それで居づらくなったら転職すればいい」という発想をもった人が若い世代には多くなっているのです。

3つ目です。Z世代とも言われる最近の若者たちの中には、仕事に「貢献感」と「成長実感」を欲する人が増えているようです。貢献感とは、自分の行動が誰かの役に立ち、その結果、「ありがとう」「助かりました」「あなたのおかげです」といった、感謝のメッセージを受け取ることで得られる感覚です。成長実感は、「できなかったことが、できるようになった」「精神的に強くなった」等、仕事を通じて自らの専門性や人間性が高まったと認識することで強化される感覚です。これら「2つの感」が満たされるか否かが彼らの仕事を選ぶ基準となっていて、そこに物足りなさを感じると、いとも簡単に離職する見切りの早さがこ

の世代の特徴と言えます。

それでは一体どう指導すればいいの？と悩んでしまうかもしれません。ひとつの例として、次の3つのポイントがあげられます。

①視座・視野・視点の転換を図るような問いを投げかける ⇒ 様々な角度から物事を考えるよう促し

②仕事の意味を伝える、対話する ⇒ 相手に納得させて動かし

③仕事の成果や行動に対して的確なフィードバック(ポジ・ネガ)を行う ⇒ 貢献感と成長実感を高める
それでも頭によぎるのが、「これハラスメントになるかも?」。私も今回調べて知ったのですが「WILLハラスメント」とかあるそうです。目標を持って欲しい、挑戦してみたい、自分や会社のことを知って欲しい…そういう、ある意味経営者としては当たり前とも思える気持ちだが、若者にとってはハラスメントになってしまうかもしれない。じゃあもう、腫れ物みたいに对应するしかないのか?私はそうではないと思います。時代が変わっても人間の本性は変わらないと思います。つまり、若者たちも誰かの役に立ちたいという願望をもつと同時に、自らを成長させたいという欲求をもっており、そのことを本気で支援してくれる人に対してはきっと心を開くということです。そしてそれにほどよい距離感で応えられるのが、ロータリーの「青少年奉仕」だと私は思います。なぜならば、国際ロータリーの第五奉仕部門である青少年奉仕は、大ざっぱに言いますと、ロータリアンが、青少年の現在、そして将来、更に人類全体に関心を寄せ、青少年が、将来出現する課題、困難を克服できるよう、成長の機会を提供しようと努めることだからです。

そしてその青少年奉仕プログラムの一つが、今回ご紹介する「RYLA」です。つまりRYLAは、ロータリアンとして青少年奉仕を実践できるとともに、経営者として従業員の人材育成をするチャンスでもある、まさに一石二鳥のプログラムと言えるでしょう。

ここで、実際にこれまでどのようなプログラムを行ってきたかをご紹介します。1959年にオーストラリアで初めて開催されたのがきっかけで始まったRYLAは、1971年にRIによって正式に認められた後、日本では1976年に初めて開催されました。近年実施されたRYLAセミナーは、画面の通り熊本県阿蘇での開催が続いていましたが、コロナ禍の折には中止やオンライン開催を迫られましたが、昨年度は熊本県天草市の御所浦(ごしよのうら)という離島で盛大に開催されました。毎年テーマを決めて、それに関連したプログラムが組まれています。

本日は、その中でも私が受講生として参加した高山年度と、昨年開催された堀川年度のプログラムをご紹介します。

まず、私が受講生として参加した2018-19年度。阿蘇YMCAにて、一泊二日で開催されました。テーマは「リーダーに必要な魅力、自信は惹きつける印象力から」。これにちなんで、初日は田中アイ先生から、ひとから魅力的だと思ってもらえるコツを教えていただき、笑顔の練習をしました。また、大勢の人の前で話すコツも教えていただきました。その中で私が一番参考になったのは、人前で話す時は、話を聞いてくださっている人の中に味方を見つけること。目を向けていてくれたり、頷いてくれている人を探すこと。

私は人見知りでも人前で話すのも大の苦手ですが、このコツを知ってから、人前で話すことが少し怖くなくなりました。二日目は、ラジオ体操に始まり、言葉を発することなく昔話の演劇を行う「演じてENJOY!」など、体を動かし表現をするプログラムが組まれています。全体を通して、参加者同士のコミュニケーションの機会が作っており、様々な世代、職業のひとと話すことができました。

2022-23年度RYLAセミナーのテーマは「次世代リーダーとしての職業観を磨く」でした。天草市で二泊三日で開催され、ガバナー卓話や2名による講演、また化石採集や海釣り体験など普段の生活ではなかなかできないアクティブな内容でした。

今年のRYLAセミナーは、4月27日から二泊三日で開催されますが、どこであるかと言うと…大分県は久住高原です!久住高原の雄大な自然の中にある久住スポーツ研修センターがメイン会場となります。テーマを「世界の中の日本 ~人・心・文化~」と定め、卓話やワークショップが組まれています。私の印象ですが、例年以上にコミュニケーションの時間を多く作っているように思います。

<2023-24年度 RYLAセミナー開催案内と申込方法>
どうかたくさんのご登録を宜しくお願い致します。
ご清聴ありがとうございました。

【寄付カード】

(ニコニコ箱)

- ・**松下会員** 天草で引継のため出席できず、すみません。3年間本当にありがとうございました。みなさんとの出会いを忘れず、今後がんばります。人吉RCの益々の発展を祈念しております。
- ・**北会長** 上村委員長、視察研修お疲れ様でした。浅野委員長 報告の続きは来月の反省会でお願ひします。久保山さん本日は有難うございます。
- ・**水野会員** マロンちゃん青少年奉仕卓話ありがとうございました。私もロータリーの青少年育成プログラムによって育ったと思っております。ご恩返しに今後も青少年奉仕に貢献して参ります。
- ・**塚本会員** 久しぶりに優勝することができました。賞品もたくさん頂き有難うございました。
- ・**増田会員** 次女の結婚を記念して
- ・**井手会員** ロータリー歴20年となりました。皆様方ありがとうございました。
- ・**安達会員** 今日は久保山君の卓話をご清聴いただきありがとうございました。ライヤインターアクトなどの青少年奉仕は、やはり相手を理解し、一緒に活動することが基本だと思います。これからも宜しくお願い致します。
- ・**伊久美会員** 久保山さん卓話ありがとうございました。これからも人吉ローターアクトクラブを暖かく見守って下さい。
- ・**竹長会員** 久保山さん卓話ありがとうございました。
- ・**愛甲会員** 本日は結婚祝い品をいただきありがとうございました。皆様の末永い健康をお祈り申し上げます。